



総務省

Ministry of Internal Affairs  
and Communications

## 地域人材ネット

日本酒を世界酒(グローバルマーケットに紹介)にする  
事でインバウンド推進と地域活性へ

平出 淑恵 ( ひらいで としえ )

東北夢の桜街道プロジェクトアドバイザー



### ○ 登録者情報

所在地

神奈川県相模原市

略歴

#### 【資格関係】

1992年 社団法人日本ソムリエ協会認定 ソムリエ資格取得  
1997年 社団法人日本ソムリエ協会認定 シニアソムリエ資格取得  
1998年 米国ワインエデュケーター協会認定ワインスペシャリスト(CWS)取得  
2000年 英国 WSET認定 ハイアーサーティフィケート取得  
2009年 独立行政法人酒類総合研究所主催清酒官能評価講習修了

#### 【職歴、活動など】

1983年 日本航空に客室乗務員として入社。国際線担当客室乗務員として勤務。ソムリエ取得後より空飛ぶソムリエとして会社関係のワインセミナー講師多数。JALソムリエクラブ「ルシエール」幹事を5年間務める傍らJAL管理職の会(鵬友会)のワイン、日本酒の会の企画担当を務める。担当主催イベント・オーストラリア大使館にてワインセミナー・ニュージーランド大使館にてワインセミナー・蔵元を囲んで日本酒勉強会等  
1999年 JAL・WSETワイン学校立ち上げスタッフとして地上業務につく。  
2003年 WSETロンドン本校にて有志蔵元による日本酒講座をサポート。  
2006年 若手蔵元の全国組織、日本酒造青年協議会のアンバサダー事業である酒サムライ活動を社会貢献社外活動としてサポート開始。  
2007年 ロンドンで行われる世界最大規模のワインコンペティション「インターナショナル・ワイン・チャレンジIWC2007」の本格的な日本酒部門開設にあたり日本酒造青年協議会と共に全面サポート。  
2010年 日本航空を希望退職。インターナショナル・ワイン・チャレンジ(IWC)アンバサダー就任。(日本代表兼務)経済産業省主催 日本酒輸出検討会にオブザーバーとして参加。  
2011年 株式会社 コーポ・サチ設立。  
2011年7月より月刊 時評に「日本酒だより」連載開始。  
2011年12月より1年間 月刊 料理通信に「Sake in the world」連載。  
2011年 外務省在外公館長赴任前研修の日本酒講習会コーディネーター、

IWC上位受賞酒が外務省在外公館リストに採用となる。

2012年 佐賀県鹿島市産業活性化観光アドバイザー  
2013年 観光庁酒蔵ツーリズム推進協議会メンバー  
全国版経済紙 フジサンケイビジネスアイ金曜版に「SAKEから観光立国」連載開始、現在も連載中。  
2014年 株式会社阪急阪神百貨店アドバイザー  
一般社団法人ミス日本酒顧問  
農水省・経産省ミラノ万博サポーターに就任。  
2015年 東北酒蔵街道プロジェクト推進協議会委員。  
昇龍道日本銘酒街道プロジェクト検討委員。  
2016年 一般社団法人日本ソムリエ協会理事に就任。

#### 著書・論文等

「SAKEから観光立国を夢見て」日本醸造協会誌 第107巻第一号(2012)

## ○ 日本酒を世界酒(グローバルマーケットに紹介)にする事でインバウンド推進と地域活性へ

### 取組の内容

2007年 日本酒を正統派のルートでグローバルマーケットに紹介するべく、ロンドンで行われる世界最大規模のワインコンペティション「インターナショナル・ワイン・チャレンジIWC2007」

www.internationalwinechallenge.comに本格的な日本酒部門を開設。のちに IWCアンバサダーに就任、日本の窓口となりました。

#### 【外務省関連】

2010年 経済産業省主催 日本酒輸出検討会にオブザーバーとして参加。2011年より 前年に関わった経産省の検討会から、外務省在外公館長赴任前研修の日本酒講習会のコーディネーターを務める。IWC上位受賞酒が外務省在外公館用に採用。このリストの活用で在外公館での日本酒の活用が2011年度は17,000本を超え、累計50,000本を超えている。また、2011年より年に数回、外務省在外公館長赴任前研修の日本酒講習会コーディネーター。

#### 【IWC関係】

～受賞蔵の地域活性関係～

2012年IWCチャンピオン「鍋島」のある佐賀県鹿島市より産業活性化観光アドバイザーを委嘱。鹿島市は「鍋島世界一」をきっかけに町興しの取り組みを開始。2012年の蔵開きの祭りには前年度の10倍以上の3万人の来訪者があり、年々盛り上がり2015年より近隣の市町村との連携も開始した。

2014年IWCチャンピオンの産地、飛騨・高山地域を取り上げたうめだ阪急本店イベント「旅するSAKE」を監修。

2015年IWCチャンピオンは福島県喜多方市の「会津ほまれ」を筆頭に福島県の受賞蔵が総理を表敬。

～IWC 日本酒審査員の活用～

海外での日本酒人材の地位向上にはIWCの日本酒審査員への登用が有効。

そのコーディネートからIWCによる世界的な日本酒専門家ネットワークが構築されつつある。

#### 【世界に向けた日本酒教育関係】

2013年度より、農水省の世界66ヶ国に広がるワイン教育機関WSET (Wine & Spirits Education Trust) の日本酒コース講師育成事業をコーディネート。海外のワインビジネスネットワークの中に日本酒人材を輩出している。

#### 【酒サムライ事業】

2006年より若手の蔵元の全国組織、日本酒造青年協議会が行っているアンバサダー事業、年に一度の京都下鴨神社で行われる「酒サムライ叙任式」をコーディネート。2015年で国内外に60名の酒サムライが誕生。

特に、まだまだ小さな海外の日本酒市場における応援団の輪を広げている。

#### 【酒蔵ツーリズム関連】

IWCのチャンピオン輩出から地域で生み出された「鹿島酒蔵ツーリズム」や、東北復興支援事業からの取り組みで「東北酒蔵街道プロジェクト」、中部運輸局による「昇龍道日本銘酒街道プロジェクト」は酒蔵をコンテンツとして地域を盛り立てていく事業で、まさに海外で人気のワインツーリズムの日本酒版である。

## 実績

IWC上位受賞酒を活用した外務省在外公館用リスト作成に協力。リストによる在外公館での日本酒使用量2011年度17,000本(前年度1,000本)

佐賀県鹿島市に「鹿島酒蔵ツーリズム」を発信支援。

2012年度の蔵開きには3万人、2013年度は5万人の来訪者を実現。

## 工夫した点や苦労した点

日本酒に限らず、日本国内の市場で長く流通してきたものをブランド化していくにはそれ自体に関わっている人たちの意識改革とビジョンの共有化をしていかなければなりません。

## ひとことPR

月に20日海外に行くという国際線客室乗務員の生活を28年続けてきました。そこから培われた海外から日本を見る視点が財産です。私がJALに入社したのは民営化前でしたので諸先輩から「会社は半官半民だが鶴丸マークは日の丸の半分以上を背負っている。」と教育されました。日本酒は海外へ出ると日の丸を背負います。「Sakeから観光立国」が私の目指すところですが、そういう気概で活動しています。



IWC2013 Sake judge day 2 lecture



IWC2013 Sake Judges



IWC 2012 Award Dinner 1



鹿島酒蔵ツーリズム2013開会式

## ○参考

### 取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1 地域経営改革	7 まちなか再生
○	2 地場産品発掘・ブランド化	8 若者自立支援
	3 少子化対策	9 安心・安全なまちづくり
	4 企業立地促進	10 環境保全
	5 定住促進	11 その他
○	6 観光振興・交流	

### 関連ホームページ

株式会社 コーポ・サチ	<a href="http://coopsachi.jp/">http://coopsachi.jp/</a>
酒サムライ	<a href="http://www.sakesamurai.jp/">http://www.sakesamurai.jp/</a>
International Wine Challenge	<a href="http://www.internationalwinechallenge.com/">http://www.internationalwinechallenge.com/</a>

戻る